



特別
チ13
3859
14



申の正月書



大藏

大藏

最狂言

切小いお

大藏

上下

又 嘉平

馬太藤藏

桂小五郎

嵐橋三郎

三原長平次

中村大藏

秋月大藏

嵐橋三郎

巴登ハハ

中村大藏

未正行

嵐橋三郎

三原長平次

中村大藏

浪田孫七

市川辰三

巴登ハハ

中村大藏

秋月大藏

嵐橋三郎

三原長平次

中村大藏

未正行

嵐橋三郎

巴登ハハ

中村大藏

未正行

嵐橋三郎

三原長平次

中村大藏

未正行

嵐橋三郎

巴登ハハ

中村大藏

未正行

嵐橋三郎

三原長平次

中村大藏

未正行

嵐橋三郎

三原長平次

未正行

嵐橋三郎

大曲馬



千秋万策大不可

男 方 騎 男
 口 上 種 樞
 口 月 富 富 那

女 野 樞 樞
 口 上 種 樞
 口 月 富 富 那

男 騎 男
 口 上 種 樞
 口 月 富 富 那

女 野 樞 樞
 口 上 種 樞
 口 月 富 富 那

男 騎 男
 口 上 種 樞
 口 月 富 富 那

女 野 樞 樞
 口 上 種 樞
 口 月 富 富 那

60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1

弘化音育朝... 名古志村町美...

小巻松板



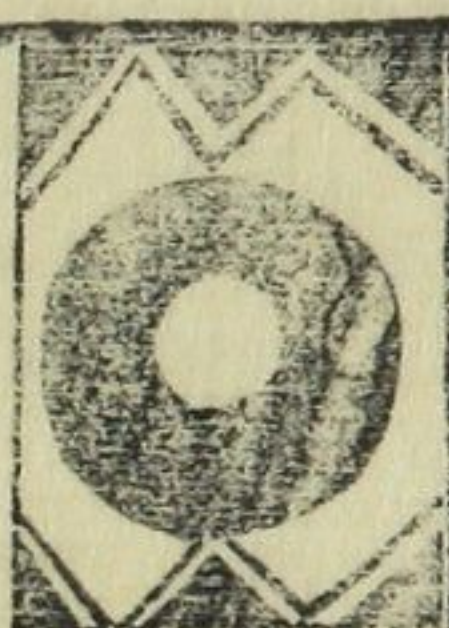
Handwritten text in vertical columns, including a large character '山' and other characters.

大初... 七爰他... 大川八...

Main body of handwritten text in vertical columns, organized in a grid-like structure with various characters and symbols.

6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90

申二月二日、法皇御院、西境内、おのて



子供浄瑠璃

名代 稲妻屋伊八

御所櫻 三段目

露掃

姑三白木屋之段

竹本浪花太夫

先代草 御殿場 十一文

竹本浪重太夫

伊賀越 沼津段

竹本三國太夫

玉藻前 三段目 十一文

竹本小田美太夫

矢口渡 四段目 七文

竹本深戸太夫

安達原 三段目 十文

竹本小浪太夫

太切記 十段目 六文

竹本浪子太夫

三國関所奴請狀

豊竹嶋菊軒

力ヶ合

重忠 阿古屋

竹本小田美太夫

岩永

竹本浪江太夫

半沢

竹本浪子太夫

三曲 十三文

豊澤寛吾

三呆線

豊澤寛吾

三味七乙

豊澤寛吾

百子徳萬歳楽吉祥日

申二月廿三日 橋岡芝之辰

内茶屋



茶屋

大船頭 芝之辰

清書

大船頭 芝之辰

芝之辰

大船頭 芝之辰

Main body of text in the upper section, consisting of multiple columns of dense handwritten Japanese characters. The text is arranged in a grid-like fashion, with some larger characters interspersed among the smaller ones.

Main body of text in the lower section, continuing the dense handwritten Japanese characters from the upper section. The layout is similar, with multiple columns of text.

千種芝之辰

ナコヤ

若宮三居

心忍口上

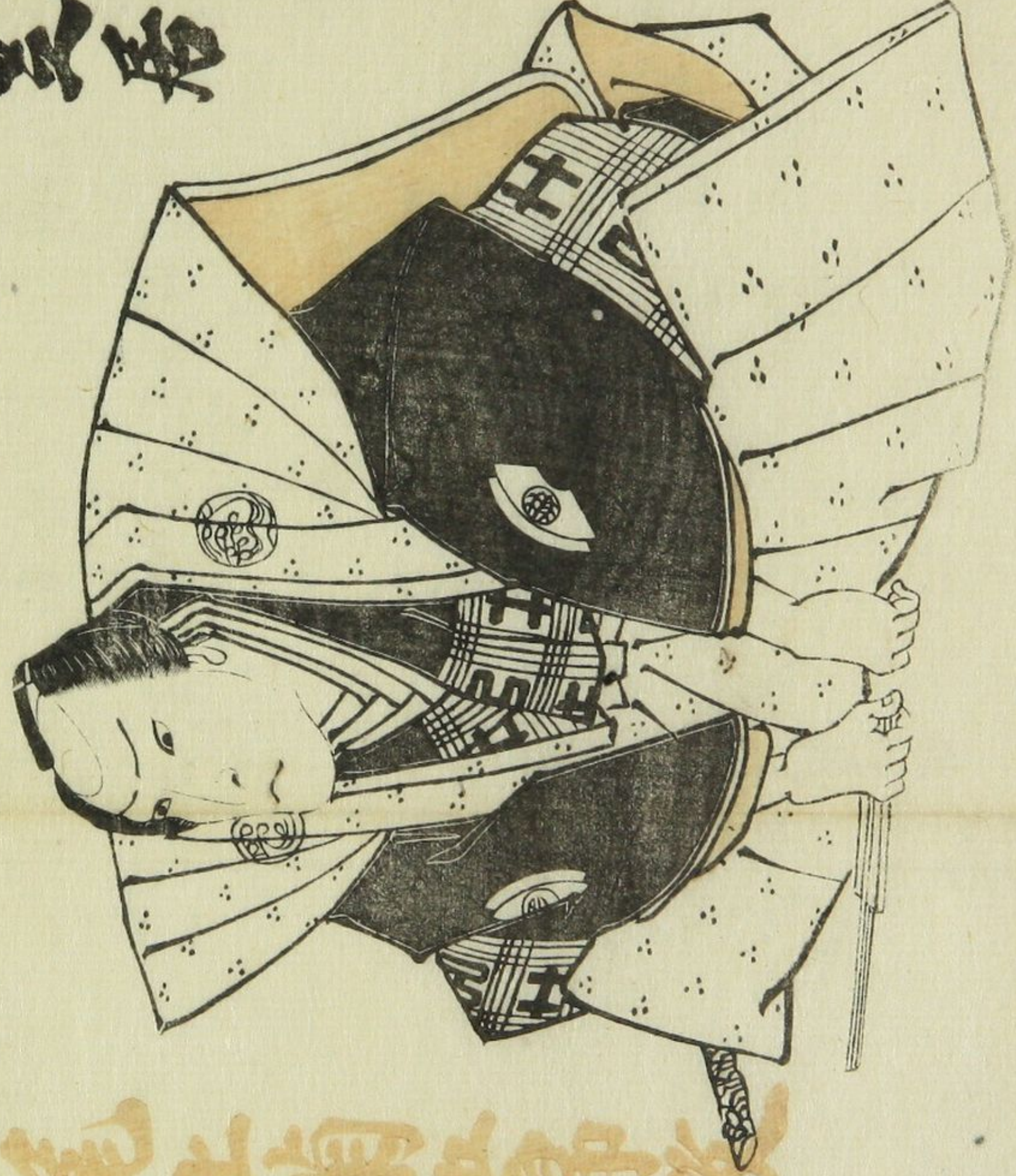
衛國衛所様益衛森奉存承而後先年
 衛上十十相成琳心魂工以一雅有奉存者
 去秋一世一代蘇登納信在宮伊勢奉宮之取
 心細不意衛折行海可再之大任上之令
 官之衛言能子并吹力衛折宮奉希之人好
 未四月上旬。若宮若宮衛折宮之若宮行江
 則不難也

梅屋春登三郎

相勤忠志在任官大進員 年三辰西 多年夫信煙終
 仕儀也夫大進員早若く在外時代世任の国史之御
 身三三幕信又仕官相改尔名而一歳一先年史之組
 江表在任官之由任有可愿く、衛折様之
 終不事也退將領江子孫之由之也取由親貴
 日中言尔奉一世代信傳、大川橋花之改名江
 孫坐衛國具仕官以所留之衛折宮之信之取
 取初學之官也、則律制奉中程柳奉希心

月

日



尾上菊五郎改

大川橋藏

○昔月廿五日 汚はるる 文を著す又

録はるる 録はるる 録はるる 録はるる 録はるる 録はるる 録はるる 録はるる 録はるる 録はるる

○平日 乾はるる 文を著す又

一ツツ 和回

○平日 乾はるる 文を著す又

和回

二ツツ 和回

○平日 乾はるる 文を著す又

吉後 大食人 唐の 文を著す又

撰 文を著す又

撰 文を著す又

撰 文を著す又

○六月 朔 文を著す又

○六月 朔 文を著す又

再身 文を著す又

申の五月吉日吉宮宮居の尊



大森

大森

大森

増補

夫の後... 黒白の對

伊達 橘 菊 福 九重

増補

...

一 陸奥...

二 加羅...

三 街殿...

四 街殿...

五 街殿...

六 街殿...

七 街殿...

八 街殿...

九 街殿...

清元...

人留 名の...

申六月吉日



各代中山横屋

正江源氏

大平部秀露

撥板丑牧

後程言

関取千両懺

詔式木

切程言

宿無園七時雨傘

上下

伊房 徹 妙

備前 備前 備前

備前 備前 備前

次方 房 おと

備前 備前 備前

備前 備前 備前

小糸 時 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

かぐり 火

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

お台 己 ぬめ

備前 備前 備前

備前 備前 備前

いばらちの松竹の中へ

女をくらふ

あつちのうらなひのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらち

いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ



いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらちのうらなひ

いばらち

いばらち

若くは... (Vertical text on the right edge)

松本屋實業

前狂言

繪本太切記

大序ヨリ 十段目迄

切狂言

仇討實業帖

五幕續

氏智光秀 黒橋源太左 後藤... (Main text block, top half)

氏智重... 子代... 廣橋源太... (Main text block, bottom half)

惣連中

千秋百歳楽可

頭取

狂言俳諧

道徳謡

若尾山十郎

申十月八日吉... 申十月八日吉...



最善言

切實

梅子枝

さくら木

神楽

井つ

双丁内

川誠

長

三味線

長

三味線

千太郎

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

大繁

和名三都...

申上青下白句三福可之店

内子奉送



大正九年十月一日

敢誓

本朝正徳

全丹

切誓

歐討嚴流賜

全丹

八重頃公先

市川三郎

武田信玄

市川三郎

源外一あり

市川三郎

武田信玄

市川三郎

仲孫あり

市川三郎

武田信玄

市川三郎

女房あり

市川三郎

武田信玄

市川三郎

大取能事

市川三郎

武田信玄

市川三郎

常盤若津

武田信玄

市川三郎

雑子惣連中

武田信玄

市川三郎

手紙

武田信玄

市川三郎



大天宮酒造

前 甘酒

中 狂言

後 狂言

切 三三三

大天宮酒造 大席より 大切まで 又平の辰 上下

Handwritten text in the top-left section, including names like '三味' and '狂言'.

Handwritten text in the bottom-left section, including names like '狂言' and '取'.

○三ノ子國領寺地如之

左ノ文

上ノ寺

梅王

善寺

梅子

○三ノ子ノ寺ノ法書如之

但智新書集

○三ノ子ノ寺ノ法書如之

但智新書集

深川 觀 聖

○三ノ子ノ寺ノ法書如之

娘中

白

一の

の

○三ノ子ノ寺ノ法書如之

○三ノ子ノ寺ノ法書如之

○三ノ子ノ寺ノ法書如之

○三ノ子ノ寺ノ法書如之

○三十一
新力道員

富士

○四十一
新力道員

○四十二
新力道員

○四十三
新力道員

○四十四
新力道員

○四十五
新力道員

正書

新力道員

徳川幕府の御用三月七日



名代 松本屋書三郎



千代田洋書三郎



朝貞日記 宿屋の段 十一支 傳本小浪太夫

八陣 八ツ目 十支 傳本小浪太夫

妹谷山 二段目 七支 傳本小浪太夫

忠臣藏 九段目 九支 傳本小浪太夫

三味線 豊澤山雲南

番組

双蝶々 橋本の段 浄瑠璃 傳本小浪太夫

三代記 八ツ目 浄瑠璃 傳本小浪太夫

白石噺 糸屋場 浄瑠璃 傳本小浪太夫

伊賀真越 岡崎の段 浄瑠璃 傳本小浪太夫

三味線 傳本小浪太夫

三味線 傳本小浪太夫

三味線 傳本小浪太夫

口上 奈川 正安 吉

頭取 松本屋書三郎

徳川幕府の御用三月七日



飛騨守

新在音

中在音

切在音

本... 飛騨守... 九段目
 上中下

長... 飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

飛騨守... 九段目
 ...

○ 借方 借方 借方 借方

中村 山村 梅枝
宗 隆 隆 隆

信州 信州 信州 信州

○ 八月 八月 八月 八月

○ 八月 八月 八月 八月

○ 八月 八月 八月 八月

○ 清 清 清 清



○ 八月 八月 八月 八月

八月 八月 八月 八月

貞 貞 貞 貞



八月 八月 八月 八月

陸奥省河津町内来八月七日



森

松葉屋

前 稻妻表紙川
在 葵の彩色
十帖源氏八
意の写繪

傾城品評林

大席より
大切なり

切 掃屋おせん
在 里見伊助

健徳切龍囀

上中下

依之木様... 名古... 里見... 切... 掃屋... 健徳... 龍囀... 上中下

白柳子... け... 娘... 市... 中... 下... 上... 中... 下... 市... 中... 下... 市... 中... 下...

子... 青... 葉... 花... 草...

頭... 取... 市... 中... 下... 市... 中... 下...

○八月 右 初海村より芝草の... 諸島

忠臣蔵

○九月 右 清江寺の... 二〇カ

朝井 貞良
朝井 金五
朝井 吾琴
朝井 三貴

○九月 右 山之場... 日暮

伊豆の...

○九月 右 山崎... 信を...

○九月 右 山崎... 信を...

○九月 右 山崎... 信を...

○十月 右 山崎... 信を...

○十月 右 山崎... 信を...

○十月 右 山崎... 信を...

○十月 右 山崎... 信を...

巻首の意は... 三月の初旬の月...

松屋の意

前在言

松屋の意

五幕後

中在言

松屋の意

二股目如

後在言

松屋の意

榎原の意

大切けい夏

松屋の意

山

松屋の意

油皮の意

松屋の意... 榎原の意... 油皮の意... 大切けい夏... 中在言... 後在言... 前在言... 松屋の意... 榎原の意... 油皮の意...

榎原の意... 油皮の意... 大切けい夏... 中在言... 後在言... 前在言... 榎原の意... 油皮の意... 大切けい夏... 中在言... 後在言... 前在言...

在言作者

榎原の意... 油皮の意...

榎原の意... 油皮の意...

以皇朝書畫卷之九十四月九日

代 祭 屋 壇 祭

前 狂 言

大 席 上 山 下 殿 迄

中 狂 言

二 段 目 切

切 狂 言

御 殿 の 殿

Handwritten text in the top-left section, including names like 小川英子 and various characters.

Handwritten text in the bottom-left section, including the title 狂言作者 and other names.

○青月廿二日山王新廟在後山
中敷細上十三文 糸大糸糸の字

他十文ハ一者ハ山王新廟ハ
糸大糸糸の字ハ一者ハ山王新廟ハ

○三月廿七日山王新廟在後山
中敷細上十三文 糸大糸糸の字

年徽在盛
陽田春敷廿文

○三月廿七日山王新廟在後山
中敷細上十三文 糸大糸糸の字

○三月廿七日山王新廟在後山
中敷細上十三文 糸大糸糸の字

氣由之廿五
福事子持
之川二十
三電田安子
笑一子
竹某

ノ

